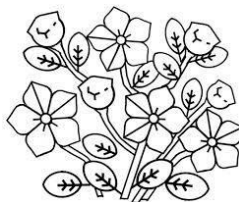


保健だより



家庭数配布

令和元年(2019年)12月13日
国立市立国立第二小学校
校長 小林 理人

保健室NO.9



令和元年適用

保護者様

国立市立国立第二小学校

インフルエンザ 登校連絡票

児童・生徒がインフルエンザにかかった場合、学校保健安全法第19条により校長は感染のおそれなくなるまで、出席を停止させることができるようになっております。これに基づき、発症日から5日を経過し、かつ、発熱日から2日を経過するまで登校することはできません。つきましては、発熱及び解熱の状況を確認するため、登校する際に本紙を保護者の方が記入し学校に提出してください。まん延防止にご協力お願いいたします。

インフルエンザ罹患中の主な症状 (該当する症状全てを○で囲んでください)

- 発熱・悪寒・頭痛・筋肉痛・関節痛・倦怠感・咳
- 鼻水・咽頭痛・食欲不振・吐き気・嘔吐・下痢・腹痛
- その他()

発症日(発熱日)	月	日	曜日
受診日	月	日	曜日(医療機関名:)
診断名	インフルエンザ (A ・ B ・)		

罹患中の体温をはかり、下記に記録してください。(平熱: 度 分)

発症0日目(発熱日)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
月/日	/	/	/	/	/	/	/	/
朝の体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
夜の体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

※発熱したその日が「発症0日目」となります。
可能な限り、朝と夜の1日計2回、体温を測定し上記に記入してください。

国立市立国立第二小学校

年 組 児童名

上記のとおりインフルエンザに罹患しましたが、発症日から5日を経過し、かつ、解熱日から2日を経過しましたので登校いたします。

令和 年 月 日

学校長 殿

保護者名

インフルエンザの「治癒証明」が「登校連絡票」にかわりました。

今までインフルエンザにかかった場合は、まん延防止のため登校する際に医師の証明を提出していただきましたが、文書料が発生したり、証明のため再度受診したりすることも流行期には困難な場合もあるため、関係機関と協議の結果、り患状況をお家の方が記入することで、感染の拡がりを抑えることができると考え、様式を変更しました。

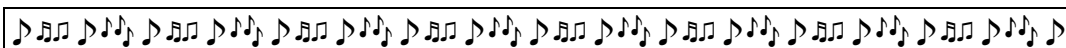
裏面に、発症から治癒までの日数の数え方などモデルを示してありますので参考にしてください。『発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を過ぎていること』で感染のおそれなしと判断します。

今までの証明書を医師に記入していただいてもかまいません。

登校の際に必ずお子様に持たせてください

水ぼうそうやおたふくなどの感染症は、従来通りの証明書を使用します。

新しい様式は、国立市のホームページと二小のホームページからもダウンロードできます。



今季はインフルエンザ流行の始まりが早いかと心配しましたが、二小では無事に学芸会が終わり、現在も病欠欠席数が少ない状況です。ご家庭での規則正しい生活の賜物と思います。

12月13日現在インフルエンザ欠席は全校で3名です。

令和元年もあとわずか、学校では持久走旬間で寒さに負けない体力を作っています。健やかな年越しになるよう頑張りましょう。



ジャンパーやトレーナーの落とし物が増えた持久走旬間…。
記名をしていただくと、本人に戻せます。
ポケットに手を入れて歩く児童が増えています。
毎年登下校中にころんでけがをする児童がいますので、手袋を用意してあげてください。

